

# 北海電気工事

設備工事を通じて  
あなたの生活をサポート

ほくでんグループ（北海道電力グループ）の北海電気工事は、主として北海道電力の送変電設備や配電設備といった流通

設備の施工・保守のほか、官庁や民間企業などの屋内外電気設備、電気通信設備の施工・保守を主な事業としている。電力の安定供給の維持やエネルギーにかかわる様々なニーズに対して、設備工事・保守を通じて顧客の安全で快適な生活をサポートすることを使命としている。

会社では、生産性向上の取り組みとして、技術力と品質管理の向上に力を入れている。技術力については、無停電や工期短縮などの工法や工具の開発・改善を、品質管理の向上についてはISO9001の認証を取得した。

## 技術力強化と体系的技能伝承を目指す

得た管理手法を品質推進室が中心となってより実効的、効率的な仕組みに改善し、08年度から全社浸透を図っている。

また、毎年6月中旬に技術研究発表会を開催している（08年は6月6日）。この発表会はずべての事業所が対象だ。技術研究開発の取り組み成果を発表しあうことで、社内全体の向上を意欲の向上を図り、職場活性化・技術

な成果をねらうというより現場の意識改革がねらいだが、長い目で見た技能伝承として、全社的な取り組みとして実施している。

技術研究発表会で披露された技術は何点か実用化されている。その代表が、送電鉄塔の高上げ工法だ。既設鉄塔の下部を包み込み、既設鉄塔を

上部で切り離して新パネルを追加し、高上げる工法だ。

これにより、工事中も送電が確保できるうえ、仮設ルートを用意する必要がなくなるため、建設費の大幅な削減を実現した。この工法は、北海道電力以外の電力会社でも活用され始めてきている。

高上げ工法以外にも、

破損時にも油が噴射しない油圧セーフティホース、地中熱ヒートポンプの採熱管施設を従来のボ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

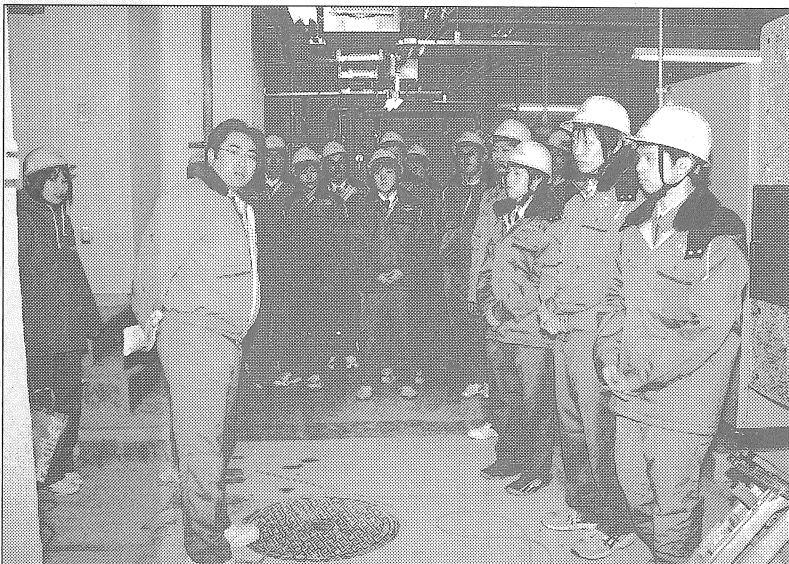
採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。

同社は、その事業の特性上特殊な技能が必要で、一人前になるのに最低5～6年かかると言われている。技能伝承については、技能職個々によ

採用活動を実施する動きがあるなど、今後の少子高齢化に対して段階的に対策を進めている。



同社の内定者を対象とした現場見学会は不安感やミスマッチの解消に役立っている

今までは技術力向上と人材育成、安全確保を含めた品質管理の充実を年度方針に組み入れてきた。今後は、生産活動の前提条件として技術開発や改善・品質管理業務に重点を置いて取り組むとともに、安全確保の現状について現状の反省を踏まえ必要なマンパワーの投入を積極的に行っていく予定だ。

▽所在地 札幌市白石区菊水2条1丁目8番21号▽代表者 瀬山幸二・取締役社長 窪本金 17億3000万円▽従業員数 1362人